

## 令和2年度 「学校評価アンケート 後期」について

京都市立洛水中学校

平素は本校教育にご理解・ご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、来年度に向けて、本校教育の振り返りや1学期・2学期の取組について、保護者の皆さまの評価やご意見をお聞きすることで教育活動をより充実させたいと考え、2回目の「学校評価アンケート（12月）」を実施させていただきました。その集計と集計結果から振り返りをしましたので、ご報告させて頂きます。平素は本校教育にご理解・ご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

前期同様に、ニーズ度調査でのアンケートを基にして、分析をしました。ニーズ度調査は、「重要度」と「実現度・適合度」をアンケートで問うことで、その落差から学校の魅力と課題を発見することに役立つアンケートです。

### 【数値の計算方法について】

「とても重要である」・「とても出来ている」 ..... 7

「やや重要である」・「やや出来ている」 ..... 5

「あまり重要でない」・「あまり出来ていない」 ..... 3

「重要でない」・「出来ていない」 ..... 1

\*すべての回答を平均した結果を表示しています。

### 【ニーズ度の計算方法について】

重要度×（8－実現度）

ニーズ度の最高ポイントは「49」、最低ポイントは1です。

したがって、重要度が高くて、実現度が低いほど高い数値を示します。

具体的には、

例① とても重要（重要度7）だが、できていない（実現度=1）の場合

$7 \times (8 - 1) = 49$  となり、ニーズ度は「最大」になります。

例② やや重要（重要度5）が、あまりできていない（実現度=3）の場合

$5 \times (8 - 3) = 25$

例③ 重要でない（重要度=1）が、よくできている（実現度=7）の場合

$1 \times (8 - 7) = 1$  ニーズ度は「最小」になります。

ニーズ度が25を超える項目は、本校がまず取り組む課題と考えられます。今回は、25を超える項目はありませんでした。しかし、20を超える項目が、生徒アンケートでは2項目、保護者アンケートでは3項目あり、この点については、より良い教育活動ができるよう、今後優先的な手立てが必要な項目といえます。

## 生徒アンケート結果（ニーズ度の高い順になっています）

質問項目	重要度	実現度	ニーズ度	
テスト前には、計画を立てて学習している。	6.6	4.8	21.1	★
学校の宿題以外の学習を家庭でしている。	6.3	4.7	20.8	★
悩みや困ったときなどに、先生に相談できる	6.4	4.9	19.8	
規則正しい生活ができている。	6.6	5	19.8	
授業の内容がよくわかる。	6.9	5.2	19.3	
授業は集中して受けている。	6.8	5.2	19	
授業の進度が、ちょうど良く受けられている。	6.7	5.2	18.8	
忘れ物はしていない。	6.8	5.4	17.7	
わからないところは、先生や友達にたずねている。	6.5	5.3	17.6	
出された課題は、一生懸命取り組んでいる。	6.7	5.4	17.4	
教科書・ノートなどは家に持つて帰っている。	5.8	5.1	16.8	
授業がおもしろく受けられている。	6.3	5.4	16.4	
課題の提出期限を守っている。	6.8	5.6	16.3	
ペル着を守り、けじめをつけて、授業にのぞめている。	6.7	5.6	16.1	
学校の宿題は忘れずに提出できている。	6.7	5.6	16.1	
家族の一員としての役割を果たしている。	6.7	5.6	16.1	
言葉づかいに気をつけている。	6.8	5.7	15.6	
学校からの配布物・プリントなどは保護者に渡しているか。	6.8	5.7	15.6	
学校に行くことが、たのしい。	6.6	5.7	15.2	
あいさつを積極的にしている。	6.8	5.8	15	
テスト問題や解答をきちんと保存している。	6.4	5.7	14.7	
毎日、朝読書をしている。	6.2	5.8	13.6	
学校のきまりや約束事を守っている。	6.8	6	13.6	
道徳・学活・総合の時間はたのしい。	6.2	5.9	13	
係やそうじ委員会の仕事がしっかりできている。	6.8	6.1	12.9	
周りの人を大切にしている。	6.9	6.2	12.4	

## 保護者アンケート結果（ニーズ度の高い順になっています）

質問項目	重要度	適合度	ニーズ度	
家庭学習に積極的に取り組んでいる。	6.5	4.5	22.8	★
基礎的な学力が身についてきている。	6.6	4.7	21.8	★
学習について、担任や教科の先生と気軽に相談できる。	6.6	4.9	20.5	★
生徒にとって授業がわかりやすい。	6.7	5.1	19.4	
各授業の目標が生徒によく伝わっている。	6.5	5.1	18.9	
さまざまな活動にチャレンジする精神が育ってきている。	6.5	5.2	18.2	
朝ごはんをはじめ、バランスよく栄養を摂っている。	6.5	5.2	18.2	
しっかりあいさつができる。	6.7	5.4	17.4	
学校だより・学年だより・学級通信・ホームページなどにより、学校の様子がよく伝わってくる。	6.2	5.4	16.1	
子どもと学校の話をよくする。	6.2	5.5	15.5	
授業参観や懇談の回数は適切である。	5.8	5.4	15.1	
学校教育目標は生徒や保護者の願いにかなっている。	5.8	5.5	14.5	
授業や行事など、バランスよく教育活動が行われている。。	6	5.6	14.4	
子どもは学校へ楽しく通っている。	6.7	5.9	14.1	

## アンケート結果より

「生徒アンケート」「保護者アンケート」とともに、ニーズ度の上位層は「学習に関する内容」、下位層は「学校生活に関する内容」となり、全体的に生徒も保護者の方もやはり学習面に對しての興味・関心が依然高い傾向があります。今年度の前期評価の結果と比べると、上位の項目で順位の変動はあるものの、大きな変動はありません。しかし、新型コロナの休校の影響もあり、数値は前回よりやや高い傾向にあります。

生徒アンケートのニーズ度をみると、20Pより高い項目は前期よりは2つ減り、2項目でした。一番高い項目は、「テスト前には、計画を立てて学習している。」であり、ニーズ度21.1で、前期よりは0.9P高い結果でした。また、2番目に高い項目は、「学校の宿題以外の学習を家庭でしている。」でニーズ度20.8Pで前期よりは1.0P低い結果でした。コロナ禍で休校の影響もあり、日ごろからの計画的な学習や家庭学習の習慣化の大切さを表していると思われます。家庭学習ではポイントが前期よりやや下回っているものの、本校としてもさらに力を入れて取り組んでいかなければならない項目です。

実現度をみると、計画的な学習については、あまりできていないとできていないを合わせると35%でした。同様に家庭学習では38%でした。この観点からの更なる継続的な指導が必要です。

本校では、今年度生き方探求チャレンジ体験（職場体験）は中止になりましたが、高等学校の生徒や先生による出前授業や社会人を招いての講演会は例年通り実施し、キャリア教育にも力を入れて取り組んでいます。自分の進路や将来をより現実的に考えるとともに、激動する社会をどのように生きていくのか考えさせるなど、1年生から計画的に取り組んでいます。早い段階で、自分が一生懸命になれるものや目標とするものを見つけ、それに向かって努力していくことが大切です。すぐに見つからなくても、1日1日を大切に一生懸命取り組んでいれば、やがて進むべき方向は見えてきます。そのためにも、毎日の規則正しい生活の中で家庭学習や基本的な生活習慣をきちんと身に着けることが大切です。毎日家庭学習の時間を必ず取り入れ計画的な学習をするよう指導してまいります。自分の夢や目標を高く持ち、家庭学習の習慣を身に着けるとともに、一人一人が持てる力を最大限に伸ばせるよう、ご家庭でも日々の確認や声かけなどをお願ひいたします。

「生徒アンケート」の実現度の高い項目を見ると「周りの人を大切にしている(6.2/7)」「係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている(6.1/7)」「学校の決まりや約束事を守っている(6.0/7.0)」などは高く、人権感覚や集団生活や規律、自らしなければならないことなどに関して意識していることがうかがえ、安定し落ち着いた学校生活ができていることがわかります。

「保護者アンケート」につきましても前期と比べ重要度には大きな変化がないものの、ニーズ度で3つの項目で20Pを超えるました。一番高い項目は、「家庭学習に取り組んでいる。」でニーズ度22.8Pで前期よりは+4.3Pでした。2番目は「基礎的な力がついてきている。」でニーズ度21.8Pで+1.3Pでした。3番目は「学習について、担任や教科の先生と気軽に相談できる。」でニーズ度20.5Pで前期より+1.4Pでした。いずれも学習面の項目であり、上昇傾向が強い結果となり、学習に関して心配を持たれている結果とも言えます。生徒結果と合わせて考えても、本校の課題である「学力」は最優先の課題であるといえます。

一方、ニーズ度の低い項目では、「子どもは学校に楽しく通っている。」はニーズ度14.1P、「授業や行事など、バランスよく教育活動が行われている。」はニーズ度14.4Pであり、適合度も5.6~5.9Pと高い傾向です。日々の学校生活が落ち着いて行われている結果とも言えます。

本校では学力向上に向けた取り組みの一貫として、とりわけ基礎基本の定着を目指し、「一読一筆（短い文章を読み感想や意見等をまとめて書く）」や「終学習」などの取組を年間通し継続して取り組んでいます。また、定期テストや学習確認プログラムの結果を分析し、授業改善や指導力の向上に向けた校内研修も継続的に行ってています。今後も、各教科での授業においては、環境づくり・授業づくり・達成感や成就感が味わえる学習活動の設定などの更なる取り組み、学習習慣・生活習慣の確立に向けて取組、より良い形に変更していくたいと考えています。また、未来社会の変化を見据えて、これからを生きていくために必要な資質や能力を身に着けていきます。ICT環境の整備、教室の無線LAN環境と1人1端末の導入など、GIGAスクール構想による学習様式の変化に対しても積極的に取り組んでまいります。

生徒指導では生徒の課題を明確にとらえ、学習面だけでなく生活面への支援も充実させていきたいと思います。指導に当たっては学級担任だけでなく学年をはじめチームで情報共有をしてチームで指導に当たります。学校生活では、生徒に寄り添い、触れあう時間が多く持つとともに、日常の小さなサインも見逃さない体制を目指しています。また、生徒の思いや悩みに素早くつかむとともに、すべての生徒が気軽に相談しやすい雰囲気づくりに取り組みたいと思います。

アンケートへのご協力ありがとうございました。学校運営に対する皆さまのご意見・評価をうかがうことにより、私たち教職員は自らの指導を振り返り、反省と改善を加え、今後の本校の発展と生徒の学校生活の充実に努めてまいります。子どもたちの豊かな育ちのために、家庭と学校で連携し取り組んでいきたいと思います。今後とも本校の教育活動に一層のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。